

縄紋時代草創期・早期土器付着物の同位体比の検討（小林）

- 加速器分析研究所 2016 「まほろん所蔵資料の AMS 年代測定結果報告（平成 26・27 年度分）」『福島県文化財センター白河館研究紀要 2015』。
- 工藤雄一郎・佐々木由香・坂本 稔・小林謙一・松崎浩之 2007 「東京都下宅部遺跡から出土した縄文時代後半期の植物利用に関する遺構・遺物の年代学的研究」『植生史研究』第 15 卷第 1 号、日本植生史学会。
- 工藤 雄一郎・小林 真生子・百原 新 2009 「千葉県沖ノ島遺跡から出土した縄文時代早期のアサ果実の  $^{14}\text{C}$  年代」『植生史研究』17 (1)、日本植生史学会。
- 國木田 大 2008 「縄文時代中・後期の環境変動と人間活動」『日本植生史学会第 23 回大会講演要旨集』日本植生史学会。
- 國木田大・吉田邦夫・中野拓大 2006 「北海道東部における土器付着炭化物の炭素 14 年代測定」『東アジア世界における日本基層文化の考古学的解明』國學院大學 21 世紀 COE プログラム第 I グループ考古学班。
- 國木田大・吉田邦夫・伊藤慎二・小林達雄・藤本強 2007 「石刃鎌文化に関する年代学的検討」『第 8 回北アジア調査研究報告会』北アジア調査研究報告会実行委員会。
- 國木田大・大貫静夫・IGOR・SHEVKOMUD・山原敏朗・吉田邦夫・松崎浩之 2012 「アムール川流域および北海道における初期新石器時代の年代研究と食性分析」『日本文化財科学会第 29 回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会・京都大学文学部考古学研究室。
- 国立歴史民俗博物館炭素 14 年代測定グループ 2007 「放射性炭素年代測定 (3)」『入江内湖遺跡 I』一般国道 8 号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書 1 滋賀県教育委員会。
- 国立歴史民俗博物館・年代測定研究グループ（小林謙一・遠部慎・坂本稔・松崎 浩之）2009 「三沢市根井沼 (3) 遺跡出土試料の  $^{14}\text{C}$  年代測定」『根井沼 (3) 遺跡』三沢市埋蔵文化財調査報告書第 23 集、三沢市教育委員会。
- 小林謙一 2004a 『縄紋社会研究の新視点-炭素 14 年代測定の利用-』六一書房。
- 小林謙一 2004b 「試料採取と前処理」『季刊考古学』第 88 号 雄山閣出版。
- 小林謙一 2004c 「青森県八戸市田向遺跡出土土器付着物の  $^{14}\text{C}$  年代測定」『田向遺跡 I』八戸市埋蔵文化財調査報告書第 105 集、青森県八戸市教育委員会。
- 小林謙一 2007 「縄紋時代前半期の実年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』137 国立歴史民俗博物館。
- 小林謙一 2008 「縄文土器の年代（東日本）」『総覧縄文土器』小林達雄編、総覧縄文土器刊行委員会。
- 小林謙一 2009 「鹿児島県における縄紋時代後半期の年代測定事例」『南の縄文・地域文化論考 新東晃一代表還暦記念論文集』南九州縄文通信 No. 20、南九州縄文研究会・新東晃一代表還暦記念論文集刊行会。
- 小林謙一 2013 「北海道帯広市内出土縄紋時代早期土器付着物の炭素 14 年代」『第

- 15回 AMS シンポジウム (J-AMS-15)』名古屋大学。
- 小林謙一 2014 「弥生移行期における土器使用状況からみた生業」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 185 集, 国立歴史民俗博物館。
- 小林謙一 2016 「藤沢市内出土試料の炭素 14 年代測定研究」『人文研紀要』第 84 号, 中央大学人文科学研究所。
- 小林謙一 2017 『縄紋時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—』同成社。
- 小林謙一・坂本 稔・松崎浩之 2005a 「福島県西田 H 遺跡出土土器付着物の  $^{14}\text{C}$  年代測定」『こまちダム遺跡発掘調査報告 3 堂田 A 遺跡 西田 H 遺跡』福島県文化財調査報告書第 424 集。
- 小林謙一・坂本 稔・尾崎大真・新免歳靖・松崎浩之 2005b 「千葉県間見穴遺跡出土試料の  $^{14}\text{C}$  年代測定」『船橋市印西線埋蔵文化財調査報告書 4—八千代市間見穴遺跡 (2) —』千葉県文化財センター調査報告第 506 集。
- 小林謙一・坂本稔 2015 「縄紋後期土器付着物における調理物の検討」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 196 集。
- 小林謙一・木村勝彦・箱崎真隆・佐野雅規・中塚武 2018 「三内丸山遺跡出土木材の酸素同位体分析と年代研究」『特別史跡三内丸山遺跡年報』21。
- 小林正史 2008 「スス・コゲからみた土器使用法」『縄文時代の考古学』7 卷, 同成社。
- 後藤秀彦・山原敏朗 2008 「条痕文系平底土器（道東地域）」『総覧縄文土器』小林達雄編, (株)アム・プロモーション。
- 坂本 稔 2007 「安定同位体比に基づく土器付着物の分析」『国立歴史民俗博物館研究報告』137, 国立歴史民俗博物館。
- 佐藤里恵・鈴木彌生子 2010 「元素分析／同位体比質量分析計 (EA/IRMS) を用いた炭素・窒素安定同位体比の測定方法とその応用」『Res. Org. Geochem』26, 21–29, 日本有機地球化学会。
- 縄文時代文化研究会 1999 『縄文時代』10 縄文時代文化研究の 100 年 縄文時代文化研究会 第 1 分冊～第 5 分冊。
- 北海道埋蔵文化財センター 2014 『木古内遺跡』北海道埋蔵文化財センター調査報告書第 304 集。
- 中村俊夫 2016 「東名遺跡出土遺物の  $^{14}\text{C}$  年代」『東名遺跡群 IV』佐賀市埋蔵文化財調査報告書第 100 集。
- 西田泰民・ヘイリー・ソール・オリヴァー・グレイグ・カール・ヘロン 2016 「土器付着物の化学分析」『東名遺跡群 IV』佐賀市埋蔵文化財調査報告書第 100 集。
- 三浦武司 2016 「縄文時代早期から羽状縄文土器成立期の  $^{14}\text{C}$  年代測定—福島県文化財センター白河館収蔵資料から—」『福島県文化財センター白河館研究紀要 2015』。
- 宮田佳樹 2009 「遺物にみられる海洋リザーバー効果」『弥生農耕のはじまりとそ

縄紋時代草創期・早期土器付着物の同位体比の検討（小林）  
の年代』新弥生時代のはじまり第4巻（西本豊弘編），雄山閣。  
宮田佳樹・遠部慎・小島孝修 2007 「竜ヶ崎A遺跡出土土器付着炭化物の炭素  
14年代測定結果（補遺）」『紀要』20，財団法人滋賀県文化財保護協会。  
村本周三・原靖寿 2013 「斜里町における<sup>14</sup>C年代測定事例の検討—縄文時代早期  
の事例について—」『セツルメント研究』7号 セツルメント研究会。  
吉田邦夫 2006 「炭化物の安定同位体分析」『新潟県立歴史博物館研究紀要』第7  
号，新潟県立歴史博物館。

